



【読書】キャラクター「おっぽん」

実施期間

【10/20～12/24】

札幌市立真駒内曙中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

●朝読書

朝学活前の時間を利用して、全校で朝読書を実施しています。図書局会では普段読まない本にも触れてもらうため、各学年に貸し出し本を配置しました。読書を日課に取り組むことで、日々の読書習慣の定着を図っています。

●「読書しよう！」生徒主体の広報活動

なかなか本に関心をもたない生徒も多く、図書館利用者数も限られています。そこで、図書局会では、読書の楽しみを広げる企画をいくつか実施しました。

★ログインポイントサービス～図書館での閲覧や貸出でポイントを集める企画です。期間中は貸出冊数が大幅に増加しました。

★おすすめ本の特集

～図書局員や先生のおすすめ本を展示しました。



学習センターとしての機能

●落ち着いて勉強できる場所

読書の利用とともに、放課後は落ち着いて自習する場所として、学校図書館を開放しています。英語検定の学習資料等は利用しやすく配置しています。

放課後の空き時間を利用して自習に励む3年生の姿をよく見かけるようになりました。

●資料配置の工夫

教科の学習や総合的な学習の時間にすぐ使えるように、各学年の廊下には辞書や学校行事に応じた資料を配置しています。その他、今年度は図書館内に北海道の本のコーナーを作り、調べ学習等で活用できるようにしました。



情報センターとしての機能

●時事に合わせた展示

図書館ではその時々のニュースや時世に応じたコーナーを設け、本や新聞から様々な情報を得られるよう工夫しています。

生徒が社会に対し、主体的に関心をもつことができるようさらなる工夫をしていきます。



●図書館だより

本校には、学校図書館、開放図書館、寄託図書館の3つの図書館があります。読書・学習・情報センターとしての役割をそれぞれが担うことで、教育的ニーズに応えられるよう努めています。学校図書館・開放図書館から発行される図書館だよりのほか、図書局会でもお便りを作成し、様々な情報を発信しています。

